

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																									
ES13C009		教育実践研究(Educational Research for Educational Practice)					教職実践コース科目																									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																										
必修	2	1～2	大学院教育学研究科	通年		氏名 全教員																										
						E-mail 内線																										
授業の概要	・本授業においては、自らが学校実地研究等を通して得た経験などを理論的に省察し、自らで設定した研究テーマの追究・検証を行う力を養う。																															
具体的な到達目標											DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
目標1 学校実地研究( )や教育体験等の省察を通して、現代的な教育課題を把握し、自己の研究テーマを設定することができる																																
目標2 自己の研究テーマを追究・検証する研究計画を立案することができる。																																
目標3 自己の研究テーマの追究・検証を行うことができる。																																
目標4 自己の研究テーマの追究・検証について、省察を行い、成果と課題をまとめることができる。																																
目標5																																
目標6																																
目標7																																
目標8																																
目標9																																
目標10																																
授業の内容																																
1 研究テーマの設定																																
2 研究テーマの相互検討																																
3 研究テーマの確定																																
4 研究計画の設定																																
5 研究計画の相互検討																																
6 研究計画の確定																																
7 実地研究に向けた課題の設定																																
8 実地研究に向けた課題の相互検討																																
9 実地研究に向けた課題の確定																																
10 実地研究の途中経過報告																																
11 実地研究における課題の相互検討																																
12 実地研究における課題解決の方策確定																																
13 実地研究を踏まえた研究成果の報告																																
14 実地研究を踏まえた研究成果の相互検討																																
15 実地研究を踏まえた研究成果の総括とさらなる課題の設定																																
ラ ブ ニ テ ン イ グ	A:知識の定着・確認	・演習中心、院生の発表、ディスカッション				工 夫	そ の 他 の																									
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	・日頃から、自己の問題関心に対応した先行研究や資料の収集に心がける。																														
	事後学修	・討議したことを整理し、個人の視点を明確にするとともに、まとめた事柄について、自己の視点と対照して、到達点を整理しておく。																														
教科書	特になし。授業中に指示する。																															
参考書	特になし。授業中に指示する。																															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10																				
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度, 課題に取り組む姿勢, 討論への参加等)	50%																														
	教員による報告会での報告内容の評価	50%																														
注意事項	・本授業においては教員集団のメンバーとしての自覚を持ち、メンタリングの観点から、経験の豊富な者は経験の少ない者の成長をサポートするよう努力すること。また、経験の少ない者は経験の豊富な者に積極的に教えを請うこと。																															
備考																																
リンク																																
	URL																															

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	古庄一夫（大分県特別支援学校教員）、牧英治郎（大分県小学校教員）、立川研一（大分県中学校教員）